

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個12事11

政策名	3 夢のふくらむ港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	企画調整室 環境担当課長
基本施策名	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		事務事業	成果	コスト	連絡先 連携課	
個別施策名	12 快適な港湾空間を形成する		継続	維持	維持	052-654-7819	港営課
事務事業名	11 名古屋港景観基本計画の推進						
目的	名古屋港とその周辺地域の景観形成を、ロマンと活気を基本理念に総合的、計画的に推進し、魅力ある港湾景観の形成を図ります。					事業期間	平成5年度～継続
概要	関係行政機関や事業者と連携して、景観アドバイザー制度の活用などにより、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性を図り、魅力ある港湾景観の形成を推進します。					根拠法令等	
						実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請します。また、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進します。					関連シート	個12事06「名古屋港カラー計画の推進」、個12事07「景観形成重点地区の形成」、個12事08「景観アドバイザー制度の活用」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	名古屋港カラー計画との整合性について、88件の審査を行いました。企業からの臨港地区内行為届出の事前相談については、19件に対し、景観形成への協力を要請しました。また、景観アドバイザー制度については、11件の相談を受け、うち完成物件8件について全8件の整合性を確認しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	172	160	97	125	111	(款項目節) 歳出: 企画調整費/企画調整管理費/企画調整総務費/旅費、報償費
一般会計	千円	172	160	97	125	111	
事業会計	千円						(算出計算式)
その他	千円						24年度旅費: 費用弁償 1,260×8回=10,080 報償費 12,600×8回=100,800
人員費 計	千円	3,508	8,582	3,986	8,017	3,748	
正規職員	人	0.40	1.00	0.47	0.93	0.43	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	(その他)
合計	千円	3,680	8,742	4,083	8,142	3,859	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
景観アドバイザー制度の相談件数(件)	目標	15	15	15	15	15	15	景観アドバイザー制度の活用状況を、相談件数で算出します。
	実績	14	14	8	11	11		
	達成率(単年度%)	93.3	93.3	53.3	73.3	73.3		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
カラー計画との整合性審査件数(件)	目標	-	-	-	-	-	-	臨港地区内の申請・届出等から、カラー計画マニュアルとの整合性を審査した件数を指標とします。上記審査について、臨港地区内で申請等必要な場合のみ企業から提出されるため、目標は立てられません。
	実績	117	87	62	115	88		
	達成率(単年度%)	-	-	-	-	-		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項	
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						名古屋港景観基本計画に基づき、名古屋港の魅力ある港湾景観の形成をさらに推進する必要があります。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						
	本組が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						景観アドバイザー制度は、有効に活用されています。また、各種建築計画等と名古屋港景観基本計画及び名古屋港カラー計画との整合性はおおむね適合していました。
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○× <input checked="" type="checkbox"/> □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						景観アドバイザー制度については、公共性のある事業であり、企業等からの負担はありません。また、一回あたり複数の相談案件を受けるなど効率的な運営を行っています。
	受益者に適正に負担させているか?	<input type="checkbox"/> ○× <input checked="" type="checkbox"/> □						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○×□						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			カラー計画に基づく審査案件の実現に努力しつつ、コスト維持に努めていくため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
企業からの臨港地区内行為届出の事前相談の際に、名古屋港カラー計画マニュアル(第3版)を配布し、名古屋港景観基本計画および名古屋港カラー計画の説明を行い、景観形成への協力を要請するとともに、景観アドバイザー制度を紹介しその活用を促進していきます。				